

特設展「時空を旅する作家 辻邦生展 生誕100年」関連公演

琵琶と声明による

西行花伝 聲の帖

揮毫 西城 研

原作 辻邦生『西行花伝』

平家琵琶/薩摩琵琶=須田誠舟/石田克佳

真言声明=田中康寛・名取雄喜

横笛・打楽器=鳳聲晴久 笙=村岡健一郎 今様・朗誦=大川あんな

音響=石井眞 構成・演出=茂手木潔子



令和7年6月8日(日)

開場15時 開演15時30分

会場:山梨県立文学館講堂 定員500名

第1部 本公演について 茂手木潔子(上越教育大学名誉教授) 約20分

第2部 「^{びわ}琵琶と^{しょうみょう}声明による ^{さいぎょう}西行花伝 ^{こゑ}聲の^{じょう}帖」公演 約70分 終了17時予定

申込方法

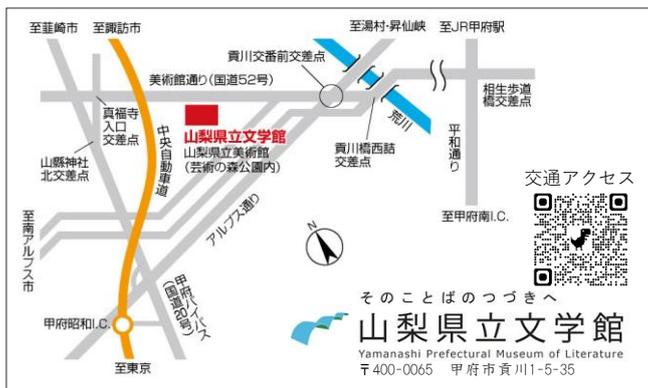
電話(055-235-8080)または当館ホームページの「イベント」欄の申込フォームからお申し込みください。

先着順、定員になり次第締め切ります。

閉館時間が17時のため、辻邦生展をご覧になる方は開演前にご覧ください。

入場無料
(要申込)

文学館HP



そのことばのつぎへ
山梨県立文学館
Yamanashi Prefectural Museum of Literature
〒400-0065 甲府市寅川1-5-35



びわ SUDA Seishu
【平家琵琶】 須田 誠舟

日本琵琶楽協会会長。1968年より辻邦生の父・辻靖剛に師事し、薩摩琵琶の指導を受ける。1970年、日本琵琶楽協会主催「琵琶楽コンクール」で優勝、文部大臣賞を受賞。1991年より金田一春彦に師事し平曲の指導を受ける。1994年、モノオペラ「銀杏散りやまず」(辻邦生原作)を制作、靖剛役で舞台に立つ。1998年より能、狂言、平曲による「平家物語の世界」(横浜能楽堂)に出演するなど幅広く活動している。



びわ ISHIDA Katsuyoshi
【薩摩琵琶】 石田 克佳

父、四世石田不識(人間国宝)のもと、1990年より琵琶製作に携わる。1996年より、埼玉県坂戸市に工房を開き独立。従来型の琵琶から特注の琵琶まであらゆるニーズに対応した琵琶製作を行っている。琵琶製作に携わる一方で、薩摩琵琶演奏家の第一人者である須田誠舟に師事。以来、琵琶の製作者および薩摩琵琶奏者としてさまざまなイベントや演奏会に参加している。薩摩琵琶正統会会員、日本琵琶楽協会会員。



しょうみょう TANAKA Kokan
【声明】 田中 康寛

孤嶋由昌大僧正に師事し、真言宗豊山派総本山長谷寺(奈良県桜井市)所伝の声明を学ぶ。以降、国内では国立劇場声明公演等に、海外ではザルツブルク音楽祭、ニュルンベルク音楽祭等に出演。迦陵頻伽聲明研究会に所属し、豊山声明の伝承・普及・紹介に努める。大正大学講師。実相院(東京都中野区)住職。



しょうみょう NATORI Yuki
【声明】 名取 雄喜

孤嶋由昌大僧正に師事し、真言宗豊山派総本山長谷寺(奈良県桜井市)所伝の声明を学ぶ。以降、国内では国立劇場やサントリーホール声明公演等に、国外ではスタンフォード大学声明公演に出演。迦陵頻伽聲明研究会に所属し、豊山声明の伝承・研鑽に努める。大正大学法儀研究アシスタント。宝光院(千葉県松戸市)副住職。



友情出演
【横笛・打楽器】 鳳聲 晴久

長唄の囃子および神楽や祭囃子の笛の演奏家。またジャズとのセッションや、芸大時代に萩森英明(ピアノ)・多井智紀(チェロ)。石渡大介(竹笛)で結成した、チェンバーオーケストラ「Eki-ben LIVE」公演では、オリジナル曲を中心に実験的な音作りに挑み続けている。2012年からは新潟市の依頼で廃絶した「角兵衛獅子」囃子の復元に着手し、地域の演奏家を育成するなど演奏・研究・教育など様々な分野で多面的な才能を発揮している。



しょう MURAOKA Kenichiro
【笙】 村岡 健一郎

大学生の時、作曲家の一柳慧、笙の宮田まゆみに出会い、雅楽と現代音楽の演奏にかかわるようになる。大学では比較文化を専攻し、雅楽と西洋現代音楽の創造的交流を研究する。笙を宮田まゆみに、雅楽合奏を芝祐靖に師事。雅楽集団「伶楽舎」に所属。



いまよう ろうしょう OHKAWA Anna
【今様・朗誦】 大川 あんな

学習院大学文学部英語英米文化学科3年。第98回学習院大学史料館講座の朗読劇「春の戴冠(後篇)」で主人公フェデリコの長女アンナ役を演じた。また、昨秋開催された第99回同史料館講座「琵琶と声明による「西行花伝 聲の帖」」で、今様と朗誦を担当した。



MOTEGI Kiyoko
【構成・演出】 茂手木 潔子

山梨県笛吹市出身。甲府第一高等学校卒。東京芸術大学音楽学部楽理科卒、同大学院修了。国立劇場演出室職員、上越教育大学教授、日本大学芸術学部(非)講師などを歴任。専門は音楽学(日本音楽研究)。主要著書に『文楽 声と音と響き』『酒を造る唄の話』『おもちゃが奏でる日本の音』『大研究 雅楽と民謡の図鑑』『小学館の図鑑NEO 音楽』など。ネット連載に「四季おりおり～季節の音めぐり」がある。

写真撮影 近藤誠司

【音響】
石井 眞
ISHII Makoto
国立劇場舞台技術部

【制作助手】
安達 楓
ADACHI Kaede

「西行花伝 聲の帖」学習院大学公演を動画で見よう！



※本公演とは異なる部分もあります。

協力：学習院大学史料館

辻邦生(1925~1999)は、山梨県^{ふえふき}笛吹市春日居町^{かすがい}国府の父祖の地を探求し、1989年『銀杏散りやまず』を刊行しました。『西行花伝』は、辻邦生最後の大作で、平安末期の歌人西行の人生が、ゆかりの人々によって語られる作品です。令和6年11月、辻邦生資料を収蔵する学習院大学史料館の企画で、「西行花伝」が日本の語り物音楽「琵琶」と仏教の声の音楽「声明」により舞台化されました。この公演をもとにした山梨版「西行花伝」を上演します。